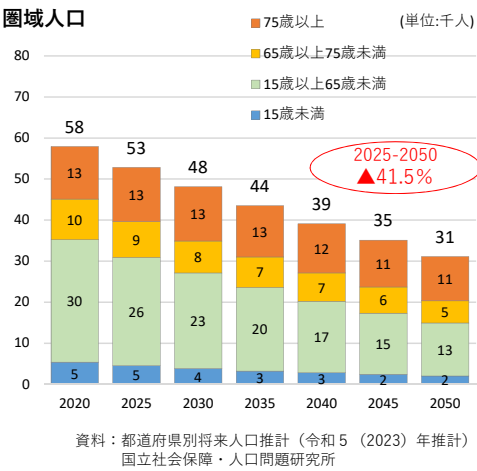


各病院の方向性について

気仙圏域



【圏域の特徴】

- 受療率が高い65歳以上人口は、横ばい(2025:22千人→2030:21千人)
- 復興道路の完成により、釜石市、盛岡市等との移動時間が短縮
- 県立病院以外の病院は、圏域内に1病院のみであり、医療資源が少ない。

【病院の特徴】

	大船渡病院	高田病院
診療科	内科、精神、児精、脳内、血内、呼内、消内、循内、小児、外科、整形、形成、脳外、皮膚、泌尿、産婦、眼科、耳鼻、リハ、放射、麻酔、病理、救急	内科、小児、外科、整形、婦人、眼科、耳鼻、リハ
病床機能	高度急性期20 急性期224 回復期45 結核10 感染4	回復期60
研修等	救命救急センター、臨床研修病院、専門研修連携施設	

地域医療構想の状況 (単位:床)

機能区分	R5.7.1現在	R7予定	R7必要病床数	差引
	A	B	C	B-C
高度急性期	20	20	44	▲ 24
急性期	244	224	164	60
回復期	120	105	93	12
慢性期	98	98	69	29
休床等	65	0	-	-
合計	482	447	370	77

資料：岩手県病床機能報告（令和5年度）

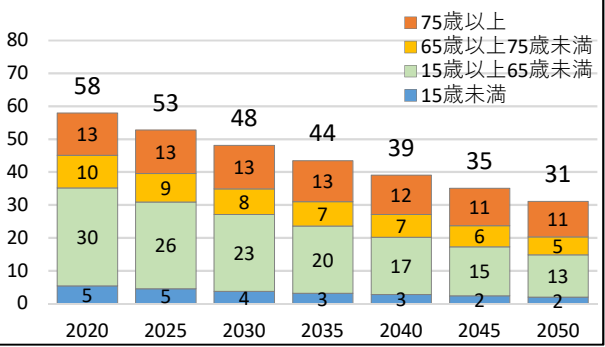
【方向性】

	大船渡病院	高田病院
基本方向	・機能強化型の基幹病院として、高度・専門医療を強化	・地域密着での医療提供
機能分化・連携強化	・気仙・釜石脳卒中医療圏、心血管疾患医療圏における高度・専門医療を行う病院として、症例を集積 ・地域で必要な診療科の常勤医確保に全力 ・がんにおける高度・専門医療等は、センター、機能集約・強化型の基幹病院と連携を強化	・大船渡病院からの回復期患者の受入強化 ・在宅医療等の実施 ・事前登録による在宅、施設等からの軽度救急患者の受入れ（ほっとつばき）

気仙圏域

- ・ 将来人口推計においては、人口減少が見込まれていますが、受療率の高い 65 歳以上人口は、横ばいで推移する見込みです。
- ・ 復興道路の完成により、釜石市、盛岡市等との移動時間が短縮されています。
- ・ 県立病院以外の病院は、圏域内に 1 病院のみであり、医療資源が少ない状況となっています。

【圏域人口】 (単位：千人)



資料：国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来人口推計」
(令和 5 (2023) 年推計)

【地域医療構想の状況】 (単位：床)

機能区分	令和 5 年度 報告病床数 A	令和 7 年 予定病床数 B	令和 7 年 必要病床数 C	差引 B－C
高度急性期	20	20	44	▲ 24
急性期	244	224	164	60
回復期	120	105	93	12
慢性期	98	98	69	29
休床等	65	0	－	－
合計	482	447	370	77

資料：病床機能報告（令和 5 年度）

大船渡病院の役割と機能

所在地 大船渡市大船渡町字山馬越 10 番地 1

病床種別 (令和 6 年 8 月現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可病床数	370		105	10	4	489
	稼働病床数	293		105		4	402

病床機能報告 (稼働病床) (令和 5 年度報告)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	令和 5 年時点	20	224	45			289
	令和 7 年時点	20	224	45			289

【病院の診療科】

標榜診療科 (令和 6 年 8 月現在)	内科、精神科、児童精神科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科
-------------------------	---

【今後の方向性】

基本方向	・ 機能集約・強化型の基幹病院として、専門人材や高度医療器械を重点的に配置し、釜石保健医療圏を含め、症例数や手術数の集積を図る
主な役割・機能	・ 地域で必要となる診療科の常勤医師を確保し、必要な医療を提供 ・ 医師が不足する地域への診療応援など、地域医療支援を強化 ・ 臨床研修病院及び専門研修における連携施設として、研修医及び専攻医を受入れ ・ がん医療圏（盛岡・気仙・釜石・宮古）における拠点となる病院と連携し、身近ながん医療を提供 ・ 脳卒中医療圏（気仙・釜石）において専門的な脳卒中医療を提供 ・ 心血管疾患医療圏（気仙・釜石）において専門的な心血管疾患医療を提供 ・ 精神科救急の協力病院として、救急治療終了後の患者の受入に協力 ・ 医療、福祉、行政、支援事業者等と連携しながら精神科の長期入院患者の地域移行を推進 ・ 精神科において、一般病院との連携体制を強化 ・ 周産期医療圏（気仙・釜石）における地域周産期母子医療センターとして、周産期に係る比較的高度な医療を提供 ・ 小児地域医療センターとして、小児専門医療を提供 ・ 救命救急センターを設置し、三次救急医療を提供

	・ 地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重篤救急患者の受入れを実施 ・ 第二種感染症指定医療機関、流行初期医療確保措置協定締結医療機関として、新興感染症に係る入院医療等を提供
--	--

高田病院の役割と機能

所在地 陸前高田市高田町字太田 512 番地 2

病床種別 (令和 6 年 8 月現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可病床数	60					60
	稼働病床数	60					60

病床機能報告 (稼働病床) (令和 5 年度報告)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	令和 5 年時点			60			60
	令和 7 年時点			60			60

【病院の診療科】

標榜診療科 (令和 6 年 8 月現在)	内科、小児科、外科、整形外科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科
-------------------------	--

【今後の方向性】

基本方向	・ 圏域の地域病院として、基幹病院と連携しながら、主に回復期の機能や、在宅医療、検診等の身近な医療を担う
主な役割・機能	・ 医療・介護・福祉・行政との連携、協働により、レスパイト入院の受入れや在宅医療の実施等、地域包括ケアシステムの一翼を担う ・ 専門研修における連携施設として、専攻医を受入れ ・ 協定締結医療機関として、新興感染症に係る入院医療等を提供 ・ 在宅医療において積極的な役割を担う医療機関として、在宅医療を実施

大船渡病院附属住田地域診療センターの役割と機能

所在地 気仙郡住田町世田米字大崎 22 番地 1

【病院の診療科】

標榜診療科 (令和 6 年 8 月現在)	内科、外科
-------------------------	-------

【今後の方向性】

基本方向	・ 地域におけるプライマリケア領域の外来医療を担う
主な役割・機能	・ 医療・介護・福祉・行政との連携、協働により、在宅医療の実施等、地域包括ケアシステムの一翼を担う